

ディスコグラフィアー掲載

ディスコグラフィアー【2021No.176】(HP 掲載)

分類：LP

作曲家：

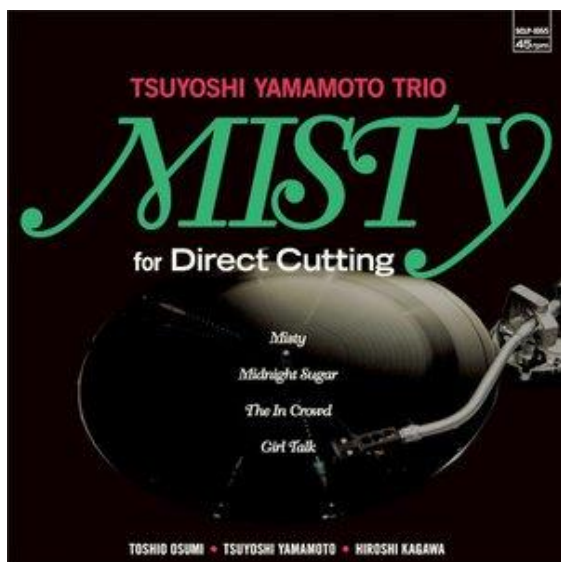
曲：ミステイ

演奏：TSUYOSHI YAMAMOTO TRIO

発売：SOMETHIN'COOL

No.：SCLP-1055

概要：



●収録曲

A-1 Misty ミステイ

A-2 Midnight Sugar ミッドナイト・シュガー

B-1 The In Crowd ジ・イン・クラウド

B-2 Girl Talk ガールトーク

●演奏

山本剛トリオ：山本剛(p)、香川裕史(b)、大隅寿男(ds)

●録音

キング関口台スタジオ 2021年2月

「TSUYOSHI YAMAMOTO TRIO/Misty for Direct Cutting」と称する、ダイレクトカットティングの重量盤です。

紹介記事を以下に引用します。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202104/22/22434.html>

「あの“ミスティ”がダイレクトカットティング盤で登場！

山本剛トリオ『Misty for Direct Cutting』

PHILEWEB AUDIO 編集部

2021年04月22日

オーディオ・ファンの永遠のバイブルと言われる TBM レーベルの名盤『ミスティ』を生んだピアニスト・山本剛による、ダイレクトカットティングアルバム『Misty for Direct Cutting』が5月19日に発売される。レーベルは SOMETHIN' COOL、PHILE WEB でも先行予約を受け付ける。

ダイレクトカットティングとは、通常の録音後に行われる編集～ミックス～マスタリングというプロセスを通さず、演奏をリアルタイムでラッカー盤に刻んでいく録音手法。マスターになるまで一切の編集がなされないため、スタジオで生まれた音がまさにそのまま収められている。

今作は、キング関口台スタジオのダイレクトカットティングアルバムとして、井筒香奈江『Direct Cutting at King Sekiguchidai Studio』（2019年11月発売）、八木隆幸『Congo Blue』（2020年11月発売）に続く3作目となる。参加メンバーは山本剛(p)、香川裕史(b)、大隅寿男(ds)のトリオで、今年2月にキング関口台スタジオにて収録。その珠玉の音と楽曲を、ぜひご堪能いただきたい。



大隅寿男（左）、山本剛（中央）、香川裕史（右）のトリオで収録が行われた。」
45回転で、イコライザーカーブ、位相、第4時定数を変えながら聴いて行きました。
なお、同じ関口台スタジオのダイレクトカットティングの井筒香奈江盤は、[LINN LP-12 の再構成\(26\)](#)で報告しています。

イコライザーカーブは RIAA、位相は正相から聴き始めましたが、ごく平均的な印象です。次に TELDEC にしますと、押出がよくなります。EMI では、余分な響きが付くようで Columbia では、RIAA に近く素っ気ない感じです。DECCA では TELDEC と同様に押出がよくなります。ここで DECCA と TELDEC を切り替えながら、聴い

て行きますと、TELDECの方では余分な響きがまとわりつくようなので、切れ味の
良い DECCA を採りました。正相から逆相にしますと、定位が曖昧になりますので、
正相に戻し、High から Mid、Low にしますと響きが過剰になりますので、High を採
りました。その結果、井筒香奈江のダイレクトカット盤の場合と同様に、
DECCA、正相、第4時定数 High という結果になりました。
総合的な印象としては、最近聴いたダイレクトカット盤すべてに言えること
ですが、アナログマスター盤、デジタルマスター盤とは違った音調で、強調感のない
自然な印象です。

以上